

## フリースグラス 施工・取扱説明書

このたびは、フリースグラス（人工芝）をご採用いただきまして、ありがとうございます。この商品を正しくご使用いただくため、この「施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しい施工を行ってください。

### 使用・施工上のご注意



- 人工芝は他の樹脂製品とは違い、温度上昇に伴い縮む特性があります。この点を施工前にお施主様を含め説明いただきご理解をいただいでから施工をお願いします。
- 本製品はスポーツ競技用ではありません。また、重歩行が考えられる場所への設置もお控えください。
- 本製品は景観用の人工芝です。車両乗り入れにより摩耗損傷する場合がありますため、車両の乗り入れはお控えください。
- 本製品（人工芝）の梱包はロール状です。保管時の積み重ね等により、形状にクセが付いたり、変形する可能性がありますので保管方法にご注意ください。
- 本製品は製品の性質上、シワや折り目が付く場合があります。その際は施工前に逆巻にしたりスチーム等で温めシワ等のクセを直してからご使用ください。
- 冬場は裏地が硬くなり芝糸が寝ている場合があります。熱（スチームや太陽光）を与えることで芝糸は起きます。
- 本製品は防災製品となりますが火気は厳禁です。また、スチームやドライヤーで温める場合も適度に製品より離してご使用ください。
- ガラスの反射熱等により、芝糸のPE（緑色）が溶けることがありますので、住宅窓の反射が起こるような場所への設置はお控えください。
- 本製品は水捌けの悪い場所で使用するとカビ等が発生する場合がありますので、排水勾配、排水口等を設けて施工してください。
- 製品表面が凍った際や雨により濡れている際には、滑る可能性がありますのでご注意ください。
- 地盤が軟弱な場合や水溜まりができるような場合は、地盤改良を行ってからご使用ください。
- 本製品はロットにより色合いが異なる場合があります。
- 本製品は使用年数の経過とともに色褪せ等が起こる場合があります。
- 本製品は製品の特性上、芝糸が抜けることがあります。引っ張る、擦る等の行為はお控えください。
- 本製品には芝目がありますので、芝先端の方向が正面に向くように施工してください。
- 本製品をカットする際は芝の裏面よりカッターナイフでカットしてください。
- 人工芝は熱により縮む性質があります。（約1～3%）施工の際は繋ぎ目や端部カットにご注意ください。
- 本製品使用時にジョイント部はしっかりと突き合わせて使用することで隙間が目立たなくなります。基布（黒）部分が大きい場合は現場にてカッターナイフを用いてカットしてください。
- 専用接着剤の硬化不良の懸念があるため、雨天時の施工は行わないでください。
- 専用接着剤が凍結する可能性がありますので、冬場の保管、施工にはご注意ください。
- 「施工・取扱説明書」に記載されていない方法及び「施工・取扱説明書」に記載されている指定部材以外を使用して施工した場合、また改造を行った場合等により生じた事故、不具合に関しては当社では一切責任を負えません。

## 商品・関連商品 内容

### ■フリードグラス



- 人工芝 2m×10m、1m×10m  
 材質：PE・PP  
 裏地：SBRラテックス



- 専用接着剤 5kg、16kg  
 ※専用接着剤1缶につき、ヘラが1つ付属されます。

防炎クリア	有害物質試験クリア
UV試験クリア	重金属試験クリア

#### 専用接着剤使用量目安

	16kg缶	5kg缶
土上(シート上)施工 50%塗布	約50㎡	約16㎡
コンクリート上施工 全面塗布	約25㎡	約8㎡

### ■砂利下防草シート (関連商品)



1m×50m×約0.34mm  
 材質:PET



φ3.5×150mm  
 使用目安:5本/㎡  
 材質:スチール(メッキ仕上)

土の上に施工する場合は、砂利下防草シートと合わせてご使用ください。  
 芝の繋ぎ目や水抜き穴からの防草抑制効果が期待できます。

## 施工手順 土上施工の場合

### ① 下地

- ・石、草、ゴミ等は事前に取り除いてください。
- ・不陸ができないように下地を平らに均し、水溜まりができないようにしっかりと転圧を行い締め固めてください。



### ② 砂利下防草シートの敷設

- ・転圧、締め固めを下箇所に関連商品の砂利下防草シートを敷き並べてください。
  - ・継目箇所は砂利下防草シートを100mm程度重ねて設置してください。
  - ・できるだけシワができないように固定ピンを用いて砂利下防草シートを固定してください。  
(固定ピン使用目安：5本/m<sup>2</sup>)
- ※固定ピンの使用が困難な場合はコンクリート釘等をご使用ください。

### ③ 人工芝の仮敷き・カット

- ・人工芝の芝目を合わせながら全面に仮敷きし、敷地に合わせ人工芝をカットしていきます。  
人工芝裏面側からカッターナイフでカットしてください。
- ・芝目は活動スペースのメイン方向（例えばリビング側等）に向かって敷設することで、人工芝の光沢を抑え自然な景観になります。
- ・人工芝は夏場等、気温の高い時期に収縮を起し、結果的に縮む性質があります。設置場所の環境により大きい時には1~3%程度縮む恐れがあります。日当たりの良い場所や気温上昇が予想される場所については端部を長めにカットしておき、暖かい時期を終えてから仕上げカットすることをお勧めします。
- ・ガラスの反射熱等により、芝糸のPE（緑色）が溶けることがありますので、住宅窓の反射が起こるような場所への設置はお控えください。



### ④ 専用接着剤の塗布（接着剤50%塗布）

- ・人工芝の裏面にある水抜き穴をできるだけ埋めないように注意しながら砂利下防草シートの上に専用接着剤に付属されているヘラを用い、ヘラ巾程度の間隔をあけながら専用接着剤を塗りつけていきます。
- ・芝捲れの原因となりますので、継目や端部箇所には必ず接着剤を塗布してください。

### ⑤ 人工芝の圧着

- ・人工芝を砂利下防草シート上に塗りつけた接着剤にシワや膨らみが出ないようにしっかりと圧着してください。
- ・専用接着剤本体に記載のオープンタイムを目安にし、時間経過後に圧着してください。オープンタイムを待たずに圧着するとエア溜まりができた状態で硬化する場合がありますのでご注意ください。
- ・圧着後、接着剤が硬化するまでの間は人工芝内に立ち入らないよう養生期間を設けてください。人工芝にシワや膨らみがある場合はベニヤ板や土嚢等で加圧して平坦になるように養生してください。



## 施工手順 コンクリート上施工の場合

### ① 下地

- ・排水勾配、排水口等を設けた設計としてください。
- ・新しくコンクリートを打設した場合は、十分な養生期間をとり、コンクリートが乾燥してから施工してください。
- ・コンクリートにひび割れや凹凸がある場合は、モルタル等で平坦に仕上げてください。
- ・塵やゴミ等は事前に取り除いてください。また、接着剤の性能発揮を邪魔する懸念がありますので油分はしっかりと取り除いてください。

### ② 人工芝の仮敷き・カット

- ・人工芝の芝目を合わせながら全面に仮敷きし、敷地に合わせ人工芝をカットしていきます。人工芝裏面側からカッターナイフでカットしてください。
- ・芝目は活動スペースのメイン方向（例えばリビング側等）に向かって敷設することで、人工芝の光沢を抑え自然な景観になります。
- ・人工芝は夏場等、気温の高い時期に収縮を起こし、結果的に縮む性質があります。設置場所の環境により大きい時には1~3%程度縮む恐れがあります。日当たりの良い場所や気温上昇が予想される場所については端部を長めにカットしておき、暖かい時期を終えてから仕上げカットすることをお勧めします。
- ・コンクリート上に施工する場合、接着剤全面塗布を推奨しております。人工芝表面に接着剤が漏れ出ないように、人工芝裏面の水抜き穴をテープ等を貼って埋めてください。
- ・ガラスの反射熱等により、芝糸のPE（緑色）が溶けることがありますので、住宅窓の反射が起こるような場所への設置はお控えください。



### ③ 専用接着剤の塗布（接着剤全面塗布）

- ・設置箇所のコンクリート上全面に専用接着剤に付属されているヘラを用い、専用接着剤を塗りつけていきます。

### ④ 人工芝の圧着

- ・人工芝を砂利下防草シート上に塗りつけた接着剤にシワや膨らみが出ないようにしっかりと圧着してください。
- ・専用接着剤本体に記載のオープンタイムを目安にし、時間経過後に圧着してください。オープンタイムを待たずに圧着するとエア溜まりができた状態で硬化する場合がありますのでご注意ください。
- ・圧着後、接着剤が硬化するまでの間は人工芝内に立ち入らないよう養生期間を設けてください。人工芝にシワや膨らみがある場合はベニヤ板や土嚢等で加圧して平坦になるように養生してください。

